

地域みんなで桃の節句をお祝い

大平小でひなまつりとむかし遊びの会

3月1日、大平小学校の1・2年生31人が地域の方々と、ひなまつりや昔遊びを楽しみました。15年ほど前から続いているこの行事。今年の会には、大平地区の老人クラブ「大平第三陸会」(加藤隆会長)や保護者など約30人も参加。児童たちはひなまつりにちなんだ話を聞いたり、歌を歌ったりして桃の節句をお祝した後、地域の方々に教わりながら、あやとりやけん玉、竹馬などの昔遊びに挑戦しました。加藤会長は、「私たちも楽しみながら、子どもたちから学んでいます。これからも続けていきたい行事です」と話してくれました。



▲地域の皆さんとひなまつりや昔遊びを楽しむ児童たち

基本を知って サッカーを楽しんで

ベガルタ仙台サッカー教室

2月17日、「ベガルタ仙台サッカー教室」がホワイトキューブで開催されました。教室には、市内外の小学生約50人が参加。学年別に4つのグループに分かれ、ベガルタ仙台のコーチからリフティングやドリブル、パスなどの基本技術を学んだ後、ミニゲームを楽しみました。参加した児童は、「プロの技を教えてもらって、もっと練習してうまくなりたいと思いました」と笑顔で話してくれました。この日は、小学生を対象とした「ルール教室」や保護者などを対象にした「指導者講習会」も行われ、参加者たちは、基本の大切さを学んでいました。



▲コーチの指導を受け、真剣に練習を行う参加者たち

火事が起きないように

越河保育園の園児が「火の用心巡回」

3月7日、春の火災予防運動(3月1日～7日)に合わせて、越河保育園の園児14人が地域を巡回して「火の用心」呼び掛けました。出発式で園児たちは、「火遊びはしません。お父さん、お母さん、先生の教えを守ります」と元気に防火の誓いを発表。防火衣や法被を身にまとい拍子木を打ちながら、地元消防団の皆さんやポンプ積載車と一緒に約1時間かけて地域を巡回しました。「火の用心。マッチ1本火事のもと」といった園児たちの掛け声を聞いた沿道の住民の皆さんは、「火の元に気を付けたいと思います」と話しました。



▲拍子木を打ちながら元気に巡回する園児たち

長生きの秘訣は趣味を持つこと

佐藤まさいさんに松竹梅敬老祝金を贈呈

2月20日、満100歳を迎えた佐藤まさいさんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り長寿を祝福しました。まさいさんは大河原町のご出身で、結婚後はリヤカーで野菜販売をするなど家業の農業を手伝いながら8人の子どもを育て、現在は孫が12人、ひ孫が13人います。現在は清風に入所中のまさいさん。普段は折り紙や編み物などの趣味を楽しんでいるそうです。この日は、ご家族のほか入所者や施設職員も集まりみんなで祝い。祝福を受けたまさいさんは、「ありがとうございます」と元気にあいさつしました。



▲祝詞を手に風間市長と記念撮影するまさいさん

100歳おめでとうございます

山田もとさんに松竹梅敬老祝金を贈呈



▲祝詞を手に風間市長と記念撮影するもとさん

3月18日、満100歳を迎えた山田もとさんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り長寿を祝福しました。もとさんは齋川のご出身で、結婚後は畑仕事や馬の蹄鉄作りを手伝いながら5人の子どもを育て、現在は孫が15人、ひ孫が15人います。メガネを掛けずに新聞を読んだり、裁縫を楽しんだり、暖かい季節には畑や庭の草むしりをしたりしているというもとさん。この日は、家族が自宅に集まりもとさんを祝福。着物に着替えて風間市長を出迎えたもとさんは、昔話を聞かせるなど終始にこやかに過ごしていました。

アルミ缶回収活動の収益で車いすを購入

白石第一小の青空児童会が社会福祉協議会に車いす寄贈



▲井上会長(左)に車いすを手渡す青空児童会と父母教師会の代表者

2月25日、白石第一小の全校児童で組織する「白一小青空児童会」と「白一小父母教師会」が、7月～9月に行ったアルミ缶回収活動の収益金で購入した車いす1台を、市社会福祉協議会に寄贈しました。贈呈式には、同児童会のボランティア委員長の山田恭香さんと副委員長の鈴木諒也くんなど5人が出席。児童を代表して山田さんが「大切に使うてください」とあいさつし、井上哲会長に車いすを手渡しました。井上会長は、「体の不自由な人への貸し出しや福祉体験授業などで使わせていただきます」とお礼を述べました。

どんなことが話し合われているの？

福岡小の児童が市議会を傍聴



▲議会傍聴後、議員に声を掛けられ話をする児童たち

2月20日・21日の両日、福岡小学校の6年生56人が、平成25年度予算案を審議する白石市議会予算審査特別委員会をクラスごとに分かれて傍聴しました。この取り組みは、同校が社会科の授業の一環として実施。児童たちは、傍聴席から見た議場の様子をスケッチしたり、質疑ごとにメモを取ったりしながら熱心に聞き入っていました。見学を終えた児童は、「難しい言葉ばかりでしたが、小学校の施設改修や備品購入などの質問も多く、真剣に考えてくれていることが分かりました」と話してくれました。

少しにがいけど おいしいね

大鷹沢保育園でひなまつりミニ茶会



▲山崎園長が点てたお茶を味わう園児たち

3月1日、ひなまつりミニ茶会が大鷹沢保育園で行われました。この日は、年長児10人が茶会に参加。来年少参加する年中児12人も茶会を見学しました。参加した園児たちは姿勢良く正座し、懐紙にのせられた和菓子と、山崎園長が点てた抹茶を味わいました。

日常の保育の中で、正座をしてあいさつをしたり、お辞儀をしたりする動作を少しずつ経験してきたという園児たち。みんな真剣な表情で山崎園長の話に耳を傾け、伝統文化を体験しました。参加した園児たちは、「少しにがいけど、おいしいね」と笑顔で話していました。